

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	山本侑吾
学籍番号	1018063
クラス	B
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	ロボットの設計には 3DCAD が必要になるので前期の活動時間は大半をこの設計に充てていた。設計に必要なになってくる知識については、教授から役に立つ書籍の案内をしていただいたのでこれを読みながら設計を進めた。効率のいい設計については繰り返し作業を覚えていく中でうまく理解することができたと思う。今回は新型コロナウイルスの影響もあり会議や活動などは基本的には全て Zoom を用いたオンラインの形式だったが、会話を交えながらうまく作業を進めることができた。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7 月末）における学習目標を選択してください。(複数回答可)	複数のメンバーで行う共同作業; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
(9 の質問で学習目標が変化した学生) 学習目標が変わった理由は何ですか？(200 文字以上)	基本的には大きく変化していない。ロボットの設計に必要な知識をこれからも習得していきたいと思っている。しかし、今期の活動を終えて思ったのは、ほとんどオンラ

	<p>インでしか作業をしていなかったため(特に自分のプロジェクトはグループごとに分かれて活動していた)、他のグループメンバーや教員とのコミュニケーションがあまり取れていなかったため、後期ではうまくコミュニケーションを取りながら、活動を進めていきたいと思っている。</p>
<p>後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)</p>	<p>前期で行ってきた作業を引き続き行っていく予定である。ロボットの設計についてコンセプトとして考えていた可愛さがあまり感じられなく、もう少しブラッシュアップする必要があると感じているため、より良い形で設計できるようにしようと考えている。前述した通り生徒と教員でのコミュニケーションをうまく取れるように、積極的に話し合いや、そのほかの活動に参加していきたい。また、前期の活動を経てプロジェクト活動の大まかな流れもある程度理解できたので、こちらについても協力的にしていきたい。</p>
<p>前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200 文字以上)</p>	<p>プロジェクト活動が始まる前はメンバーや活動内容についてかなりの不安があった。特にオンラインで実施することになったので、実際にプロジェクトメンバー同士で設計などの相談をすることがかなり難しかった。設計だけにとどまらず、基本的な話し合いや、相談事もかなりしにくいと感じた。それでも活動はしっかりと終わらせることができたのでとてもよかった。自分がこのプロジェクトに入って一番伸ばしたかった設計の技術も大きく成長したと感じる。</p>